



# やらまいか

クラブテーマ：新たなチャレンジ、さらなるレベルアップ

会長/柴田浩志 幹事/杉浦節子 会報委員会/吉田 悟・浅野 晋 例会/毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所  
事務局/豊川市豊川町辺通 44 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

本年度第16回 通算1547回 2018年11月6日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	10/16修正出席率
		68名	36名	56.3%	90.8%

ゲスト：地区補助金委員会副委員長 久具信夫さん(豊川) 米山奨学生 ヒュン・バー・フック君 ビジター：(なし)

## ★会長あいさつ

### 柴田浩志会長



こんにちは。11月に入りました。本日、理事会に引き続いて指名委員会が行われました。来月の総会に向けて、次年度の人事が

順調に進んでいます。少しずつ肩の荷がそちらに移り、気が楽になって来ました。とは言っても、今年度は来年4月に地区研修協議会のホストクラブという大きな仕事があります。気を緩めることなく、行きたいと思っております。

本日は、今月のロータリー財団月間に合わせて、財団の担当例会です。地区の補助金委員会の久具さんからお話を頂きます。

我々のクラブの財団寄付額は、1人当たり140ドルぐらいで、地区の中では真ん中あたりです。この寄付の状況で補助金申請額に対して補助金が下りることになっています。3年前の寄付状況が、今年の査定基準となります。今、寄付していることが、のちのち自分たちに返ってきます。ここ数年は、地区補助金をもらって事業をしています。今年度の豊川海軍工廠平和公園のPR事業も地区補助金をもらっての事業でした。皆さんにもその意識を持って、財団への寄付を積極的にお願いをしたいと思います。

先日のガバナー公式訪問の際のガバナーとの懇談会の席上でも、もう少しで一人あたり

の寄付額が目標の150ドルになるので、頑張ってもらいたいというお話でした。特に今年は、1人当たり150ドル寄付と、ポリオ30ドルの寄付が推奨されています。満額に近づける様な努力をしていきたいと思っております。

ロータリーの活動は、我々が行う事もそうですし、他クラブが社会のために事業をする事もそうです。ロータリー全体の奉仕活動に対しての援助として、寄付へのご協力をお願いしたいと思います。

## ★幹事報告

### 杉浦節子幹事

例会臨時変更のお知らせ  
地区大会に関するお知らせ  
地区大会慰労会のお知らせ

## ★委員会報告

雑誌広報委員会(熊澤委員長)  
ロータリー友10月、11月号の紹介

## ★ロータリー財団委員会担当例会

### 委員長あいさつ

### 石黒貴也委員長



こんにちは。本日は、豊川RCから久具さんをお招きして財団の卓話をして頂きます。

11月はロータリー財団月間です。豊川海軍工廠平和公園PRイベントで財団の補助金を頂いており

ます。本日の例会後に、皆さんにご寄付のお願いの通知を出させていただきます。

特に今年は、30ドルのポリオ協力金は、全会員の皆さんにお願いしたいと思います。ガバナーからも強く言われています。この地球上からポリオを撲滅するまで、あと少しのところまで来ました。ポリオが地球から撲滅したら大変な偉業です。その辺りをご理解頂いて、皆さんにご協力をお願いしたいと思います。

本日の講師の久具さんは、地区財団委員会6年目のプロフェッショナルな方です。大変有意義なお話が聞けるとと思います。ご清聴よろしく申し上げます。

## 卓話「ロータリー財団 今、やるべきこと」

### 地区補助金委員会 久具信夫氏



こんにちは。豊川RCから地区補助金委員会に出向をしています。今日はよろしく申し上げます。

本日は、大変お忙しいお時間を頂きましてありがとうございます。日頃からロータリー財団へのご理解ご協力を頂きましてありがとうございます。

昨年度の豊川宝飯RCの実績は、年次寄付の一人当たり142.79ドル、ポリオ寄付が0ドルです。ポリオは、昨年度から始まったので、殆どのクラブが0です。

本日は、ロータリー財団の基本的な話とポリオ撲滅の必要性についてお話をさせていただきます。

地区のロータリー財団委員会は、資金管理委員会、資金推進委員会、補助金委員会、ポリオプラス/VTT委員会、奨学基金・平和フェロー委員会の5つの委員会があります。

補助金は公金であります。常に透明性を持って頂きたいと思います。補助金の申請には、申請年度会長のサイン、該当年度の会長のサインが必要です。不正をした場合、そのクラブの責任では済まなくて、地区全体でペナルティーが課せられます。申請に対して覚書を提出してもらいます。7項目についてお守り

を頂きたいと思います。補助金ハンドブックは、各クラブさんに配布されています。地区の財団のホームページからダウンロードもできますので、ご確認ください。

ロータリー財団への寄付は、法人寄付の場合は損金特別枠、個人寄付は所得控除。税額控除が受けられます。

補助金の活用は、3年前の年次基金と恒久基金の利息分の有効活用で、ルールがきめられていることは曲げてはならないのです。そのために覚書を交わして不正なきよう進めています。問題がなければOKではなく、問題がないようにするのが原則です。

資金推進委員会は、寄付の理由として、ロータリアンであるミッションへの拘り、奉仕である弱者への支援、3年後へのはっきりした分配の仕組みです。今年の寄付目標としては、年次基金寄付1人当たり150ドル、ポリオプラス基金寄付1人当たり30ドルです。今までは全体として180ドルでしたが、今年はポリオ30ドルは必達であると村井ガバナーは言われています。

寄付の分類としては、年次基金は、平和の推進、水と衛生の改善、教育の支援、地元経済の促進、母子の健康改善、疾病の治療・予防といった活動にあたっています。寄付の50%が3年後に地区財団活動資金として地区の裁量で人道的、教育的プロジェクトに実施できます。残りの50%は、グローバル補助金として活用されます。

恒久基金は、未来において持続可能なプロジェクトを実施するために必要な財源となります。

ポリオプラスは、ポリオ撲滅の活動を支援する基金です。ワクチン投与、報告、モニタリング、症例分析、輸送手段、ヘルスキャンプの設置、広報活動に活用されています。

ロータリーカードは、実施国は日本、アメリカ、カナダ、ドイツ、スリランカです。個人、国内会員、地区・クラブ・委員会向けカードなどがあります。2016-17年度利用総額は、17億2,000万円で、還元総額は1,051万円です。

私の所属している補助金委員会は、補助金に関して審査ではなく、アドバイスをする立場の委員会です。流れとしては、3月に申請をして、4月に申請内容を確認、5月にガバナー承認、6月に地区からロータリー財団に一括申請、7月にロータリー財団から承認、8

月から9月にロータリー財団から地区へ補助金が入金され、各クラブへ入金されます。2018-19年度の実績は、申請クラブ54RCに対して、2,050万円総額で、申請額が2,030万円です。この差額はロータリー財団にお返しをしています。

グローバル補助金は、大規模なプロジェクトに活用できる補助金です。基本的には、2カ国以上のクラブ又は地区の参加が必要です。6つの重点分野のうちの1以上があてはまる事業であること。長期的かつ持続的に効果が測定できる事業であるなどの特徴的な条件があります。機会があれば、是非とも申請をして頂きたいと思っております。これまでに活用されたクラブ、津島、名古屋大須、名古屋清州、半田などあります。

ポリオとは、小児マヒです。口からウィルスが侵入して5歳未満で感染、不衛生な環境で人から人に感染をします。症状が出ることはまれで、症状が出ると回復が困難です。日本のポリオの歴史としては、1949年に各地で流行しました。1960年がピークで、1961年6月からソ連から生ワクチンを緊急輸入して、1ヶ月に1,300万人の小児に一斉投与されました。1980年以降、患者発生ゼロです。今でも全国一斉投与方式が行われています。全世界からポリオがなくなると、予防接種も必要がなくなります。1985年、ポリオ撲滅は夢物語でした。そして15年間の活動の結果、2000年ポリオが99%なくなりました。活動をやめると、2020年までに毎年20万人が感染をする危険性があり、総額110億ドル以上の今までの投資資金が全て水の泡になってしまいます。インドは人口が多いので、予防接種ボランティアだけで250万人、接種チームは170万チーム、監督者が15万5千人です。ポリオワクチンは2億2,250万個、移動用保冷バッグ200万個で、インドではポリオが撲滅に向かっています。ナイジェリア、パキスタン、アフガニスタンの3ヶ国がなかなか困難です。ナイジェリアは3年前から発症0です。パキスタンは、さらに3億5,070万ドルが必要です。2018年1月～9月18日の症例数としては、パキスタンが4、アフガニスタンが14、他は0です。なかなか予防接種に出向けない場所であるからです。

職業研修チーム委員会は、VTT委員会とされています。医療が発達していない国に

医療チームを派遣して、現地で研修をするといった活動をしています。

10月27.28日に“ワールド・フード・フェスタ”でポリオ撲滅の呼掛けをしました。

奨学基金・平和フェロシップ委員会は、海外の大学院に留学生を支援することと、平和の分野の関連業務3年以上の就業経験を持つ人材を派遣しています。当地区のグローバル補助金奨学生は、早瀬竜也さん、小池隆宏さん、林ももこさん、山田彩乃さん、市川智也さんがいます。ロータリー平和フェローとしては、2016年に宇治川貴史さん、2017年に藤本矩大さん、2018年に辻坂文子さんがいます。

最後に、今年は、ポリオ撲滅(あと少し)のためにまず一人当たり30ドルを、そして年次基金寄付の一人当たり150ドルを、当地区としてお願いしております。

ロータリー財団委員会は、2760地区内クラブを通じて、支援を必要とする先のニーズを最優先に考え、4つのテストを指標とするロータリアンスピリットを持った集団として、最優先の課題に毅然と取り組むべきである、と考えています。ロータリー財団は102年目を迎え、新たなところに来ています。お金を集めることが財団の目的ではなく、世界でよいことをするための貯金です。世界約120万人のメンバーが”多くの助けを必要としている人を笑顔にする”奉仕団体、それがロータリーです。

## ★ニコニコボックス

久具信夫氏	本日卓話をさせていただきます
〃	御礼のお車代
石黒貴也会員	本日の例会を担当
高桑 耐会員	母の葬儀の御礼
水野太一会員	誕生日を祝って頂き
梅田喜嗣会員	〃
横田 長会員	〃
太田 稔会員	〃
柴田浩志会員	〃
縦山修一会員	結婚記念日を祝って頂き
大場 篤会員	〃
鈴木 忍会員	事業所創業を祝って頂き
林 博宣会員	〃
田中健司会員	〃
小野喜明会員	〃

会報担当：吉田 悟会員・浅野 晋会員